



2/7 実施 第5回 小川晶 保育ゼミ

R6.3.19 保育センター 発行

1年間、『子どもを尊重した0, 1, 2歳児の保育～「あたりまえ」の振り返り～』というメインテーマのもと、「生活」「あそび」「環境」「その他（合理的配慮が必要な子どもへの関わり等）」について学んできました。最終回は、実践報告会として、1年間学んだことをどう活かすことができたか伝え合いました。

実践 報告会

グループでの報告で学びをより深めることができ、実践報告会の後には、小川先生に質問に答えていただきました。



子どもが育つ環境を組織で捉えることが大切ですね

子どもが困らない環境作りをしっかりとしたいです



保育士が変わることが適切な保育へ繋がっていきますね

このゼミでの1年間、子どもが「尊重されている」と感じられる言動・態度・関わり方をするのが大切だと学んできました。保育所保育指針にも、保育の実施に関しては「1人ひとりの～」と示してあります。1人ひとりの子どもを見ていくことが、特別なことを行う訳ではないことを意識していきたいですね。

●●●●●●●● ●●●●●●●● ●●●●●●●● ●●●●●●●● ●●●●●●●● ●●●●●●●● ●●●●●●●● ●●●●●●●● ●●●●●●●● ●●●●●●●●

研修の最後に、小川先生よりお話をいただきました。

「乳幼児期の子どもは難しく、学び続けないと分からないことが多いです。そこで、いつもこの人は自分の味方で、自分にとっていいことを考えてくれる人と、子どもに良い評価をされることを一緒に目指してくれたら嬉しいです。

愛着形成を担う職種である保育者の関わりは大きいです。自分達の関わりが子どもの育ちに貢献できて、保育の楽しさを十分に分かってほしいと思います。」と語っていただき、改めて保育士のやりがいを感じることができました。

これからも、子どもを尊重することについて学び、振り返り続けながら、子ども1人ひとりと向き合っていけたらいいと思います。

作成 保育センター 渡部